

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2018-180100 (P2018-180100A)

【公開日】平成 30 年 11 月 15 日 (2018.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-044

【出願番号】特願 2017-75519 (P2017-75519)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

G 0 9 G 3/3233 (2016.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 4 6 D

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/12 B

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/02

H 0 1 L 27/32

G 0 9 G 3/3233

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 7 0 Q

G 0 9 F 9/00 3 4 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 9 F 9/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 3 日 (2020.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリクス状に配置された複数の画素によって構成された画素アレイ部と、
少なくとも前記画素アレイ部の外側に配置されて折り曲げられる折り曲げ部と、
前記折り曲げ部によって前記画素アレイ部と連結され、前記複数の画素に供給する信号
を生成する周辺回路と、

前記折り曲げ部を避けて配置されるとともに、前記画素アレイ部及び前記周辺回路に対
する水分子の侵入を防止する封止膜と、

を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記周辺回路は、前記複数の画素に電流を供給するタイミングを選択する走査信号を生成する走査信号生成回路、を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記複数の画素は、それぞれ異なる色の光を発する複数の副画素で構成され、

前記周辺回路は、前記複数の画素にそれぞれ含まれる副画素から、電流を供給する副画素を選択する選択信号を生成する選択信号生成回路を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記周辺回路は、前記画素アレイ部の動作を検査する検査回路を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 5】

さらに、前記封止膜を保護する保護フィルムを有し、

前記保護フィルムは、前記画素アレイ部、前記折り曲げ部及び前記周辺回路を覆うように配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 6】

前記封止膜は、前記画素アレイ部を覆う第 1 領域と、前記周辺回路を覆う第 2 領域と、を有し、

前記第 1 領域と前記第 2 領域とは、前記折り曲げ部で分断されていることを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 7】

前記封止膜は、第 1 無機封止膜と、第 2 無機封止膜と、前記第 1 無機封止膜と前記第 2 無機封止膜との間の有機封止膜と、を有し、

前記第 1 領域に設けられた前記有機封止膜と、前記第 2 領域に設けられた前記有機封止膜とはそれぞれ、前記第 1 無機封止膜と前記第 2 無機封止膜とによって封じられていることを特徴とする、請求項 6 に記載の表示装置。